

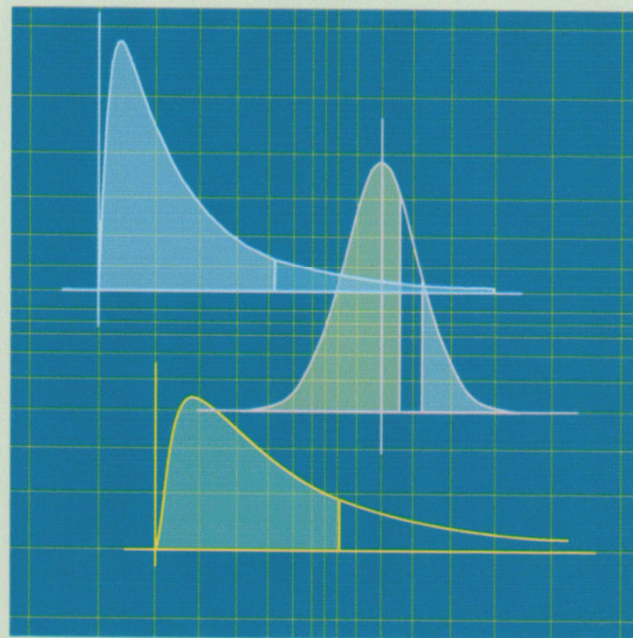
リスク・セオリーの基礎

岩沢宏和著、培風館、2010年2月

リスク・セオリーの基礎

不確実性に対処するための数理

岩沢 宏和 著



培風館

リスク・セオリーの基礎

不確実性に対処
するための数理

岩沢 宏和 著

培風館

これから話すことから

1. リスク・セオリーとは何のことか
2. 本書成立の経緯
3. 想定読者
4. 本書の内容
5. むすび

1. リスク・セオリーとは何のことか

欧州でいう (actuarial) risk theory

リスク・セオリー ≡ 20世紀以降の損保数理

誕生年は1903年？ 1914年？

2. 本書成立の経緯

著者は何者か

基礎講座の講義資料がもと

出版することになったきっかけ

リスク・セオリーの面白さ

3. 想定読者

もとの講義は、アクチュアリーを目指す人向け

より広い読者層を目指して

できあがってみると・・・

4. 本書の内容

1章 リスク理論とは何か

2章 リスク理論の基礎としての応用確率論

3章 クレーム・モデルに基づく保険料の算定

4章 リスクの測定

5章 ポアソン過程とその一般化

6章 破産理論

7章 信頼性理論

8章 クラス料率算定法

5. むすび

アクチュアリー正会員を目指す人はもちろん

すでに正会員の人にも

損保関係の人も、そうでない人にも

税込4,750円

安い本ではないですが・・・

岩沢宏和 『リスク・セオリーの基礎』
培風館、2010年2月

よろしくお願ひします。